

# 若松にじいろ通信

(Funabashi Wakamatsu Elementary School Japanese Classroom Newsletter)

2026年3月

March 2026

にほんごしどうきょうしつ  
日本語指導教室



## とうきょう 「東京マラソン」

「がんばれ」、「<sup>ジャヨウ</sup>加油」、「<sup>ファイティン</sup>화이팅」、「<sup>ユ-ヴ</sup>You've got this」

など3月1日(日)に行われた東京マラソンの<sup>えいきょう</sup>影響で、

都心はたくさんの<sup>げんご</sup>言語による<sup>せいえん</sup>声援があちこちで<sup>な</sup>鳴り響い

ていました。<sup>しゅつじょう</sup>出場する<sup>かぞく</sup>家族を<sup>おうえん</sup>応援するために<sup>わたし</sup>私が行った

<sup>えんどう</sup>沿道(道路の<sup>ちか</sup>近く)では、<sup>えいごけん</sup>英語圏・<sup>かんこく</sup>韓国・<sup>ちゅうごく</sup>中国・<sup>けん</sup>アフリカ圏

など<sup>はんぶん</sup>半分は<sup>がいこくじん</sup>外国人が<sup>し</sup>占めていました。

「<sup>にほん</sup>ここは日本か?」と思える<sup>おも</sup>状況の中、<sup>じょうきょう</sup>警察官や<sup>なか</sup>ボラン

<sup>かた</sup>ティアの方が<sup>えいご</sup>英語や<sup>つか</sup>ジェスチャーを使って<sup>みちあんない</sup>道案内や<sup>じょうきょう</sup>状況

<sup>せつめい</sup>説明をしていました。<sup>もくひょう</sup>目標に向かって<sup>む</sup>一生懸命<sup>いっしょうけんめい</sup>走ったり、

それを<sup>おうえん</sup>応援したり。<sup>ばしょ</sup>場所を<sup>ゆず</sup>譲り合い、<sup>あ</sup>ゴミ拾いをする<sup>ひろ</sup>姿は<sup>すがた</sup>

<sup>にほんじん</sup>日本人も<sup>がいこくじん</sup>外国人も<sup>かんけい</sup>関係なく、「<sup>きょうせいしゃかい</sup>共生社会」の一部を<sup>いちぶ</sup>垣間

<sup>み</sup>見たような<sup>き</sup>気がしました。



# こくさいりかいいんかい 「国際理解委員会」

いいんかい さくねんどほっそく わかまつしょうがっこう こくさいりかい  
この委員会は昨年度発足し、若松小学校の国際理解  
きょういく そくしん ねんめ いいんかい  
教育を促進するためにつくられました。2年目の委員会で  
ねんかん とお おお かつどう と く  
すが、1年間を通して多くの活動に取り組んでいます。  
せんげつ さいご いいんかい せかい あいさつ せかい あそ  
先月の最後の委員会では、「世界の挨拶」「世界の遊  
び」「世界の食べ物」「世界の祭り」のテーマに分かれて  
しら がくしゅう しんぶん はっぴょう  
調べ学習したものを新聞にまとめ、グループごとに発表を  
ねんかん  
しました。1年間ありがとうございました☆

